

鳥羽は昔から港町、城下町として栄えてきました。今の市街地には、江戸時代から昭和にかけての、いろいろな時代の建物が残っています。藤之郷の旧広野家住宅はみなさんご存じだと思いますが、江戸時代の末に建てられたものです。二丁目には、明治時代に料亭や遊郭として建てられた、今では貴重な木造3階建ての建物、三丁目には、大正期に建てられた町屋と蔵、一丁目の旅館「海月」の旧館は、昭和の初めごろのもので、これ以外にも、市街地には、至るところに古い佇



今では貴重な明治時代の木造3階建て



隣同士、軒を接して建てられている大里の町屋

**鳥羽は  
貴重な建築物の宝庫！**

鳥羽は昔から港町、城下町として栄えてきました。今の市街地には、江戸時代から昭和にかけての、いろいろな時代の建物が残っています。藤之郷の旧広野家住宅はみなさんご存じだと思いますが、江戸時代の末に建てられたものです。二丁目には、明治時代に料亭や遊郭として建てられた、今では貴重な木造3階建ての建物、三丁目には、大正期に建てられた町屋と蔵、一丁目の旅館「海月」の旧館は、昭和の初めごろのもので、これ以外にも、市街地には、至るところに古い佇

まいを残した建物がたくさん残っています。このほかにも、離島や加茂松尾地区などにもたくさん貴重なものが残っています。また、鳥羽のまちのシンボルとして市民のみなさんに親しまれてきた改修前の塔屋のある市役所庁舎は、昭和の円

形建築で一世を風靡した坂本鹿名夫という建築家によるものだとわかった。鳥羽小学校は神戸を中心に活躍した清水栄二という当時の一級の建築家によって設計されています。鳥羽を訪れた建築家のかたがたは「ここは貴重な建物がたくさん残っていておもしろい」と口々におっしゃっています。

**鳥羽のお宝  
再発見！**



vol.3

教育委員会生涯学習課  
☎ 1268

昨年6月に子育て支援センターが開設されて早一年。交流の場「だっこ」もたくさんのかたに利用していただきました。今回は、普段の「だっこ」の様子をお知らせします。

★ ★ ★ ★ ★

「おはよう」「おはよう」と笑顔であいさつを交わす保護者の声につられて、にっこりほほ笑んでいる子どもたち。いろいろなかたに抱っこされて、「あっぱー」や「にっこ」をサービスしています。やっとお座りできた友だちの頭をそつとなでたり、おもちゃを渡したり、すぐにやさしくなれる子どもたち。

お家では見られないかわいい姿や表情を大発見できます。「だっこ」が終わりの時間が近づき、「さあ、始まるよ」と歌うと「今日は、何が始まるのかな？」と、お家のかたの膝の上にちよこんと座ります。そんなお兄ちゃん、お姉ちゃんを見て、5、6か月の子どもたちも静かに抱っこされるのです。そして、子どもたちは、にっこりと保育士の読み聞かせに反応します。

ふれあい遊びでは、大好きなお家のかたに安心して抱っこされ、ゆらゆら揺れたりこちよこちよされたたり、とびつきりの笑顔です。

そんなかわいい子どもたちの表情を見るお家のかたのいとおしそうなまなざしが、ほほえましくまぶしいです。

「だっこ」では、育児に関する講座なども開いています。まだ、だっこを利用されたことがないかたも、ぜひ遊びに来てください。一緒に楽しく過ごしましょう。



**子育て広場  
だっこでほっと**

みんなが笑顔になれる場所

vol.4

子育て支援センター  
☎・FAX ☎ 7221